



NO. 2042
2017. 4. 30

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp

高橋ちづ子
紙智子
いわぶち友
国会議員連絡所
県市議団事務所
鶴岡市美原町16-5
☎22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所

関徹
長者町11-26
24-2414
加藤太一
稲生2-6-6
24-5935

加藤鉦一
宝徳仲田56
64-3941
菅井巖
中桶96
33-0534

坂本昌栄
稲生2-33-47
24-5993

共産党市議団の政務活動費

広報費と資料購入費で96%

日本共産党鶴岡市議団は、平成28年度の政務活動費報告を議会に提出しました。条例で定められている政務活動費は議員一人あたり月額3万円

で、党市議団として昨年度は総額108万円の交付を受けています。

しを占め、その他には情報公開制度による開示請求資料等のコピー代などが費用として計上されています。

その用途(支出)としては、毎週発行の「新つばさ」などの議会報告に係る広報費が79%、情報収集に必要な専門書や各種新聞などの資料購入費が17%と、この2つがあらま

全国的な政務活動費問題から、鶴岡市議会でも平成28年度分から支出明細や領収証等も市ホームページで公開(7月頃予定)されるようになります。

平成28年度 日本共産党鶴岡市議団 政務活動費明細書

【交付額】
30,000円×3人×12ヵ月=1,080,000円

科目	金額	比率
研究研修費	0	0
調査旅費	12,354	1.1%
資料作成費	29,335	2.5%
資料購入費	201,710	17.4%
広報費	915,225	79.0%
公聴費	0	0
人件費	0	0
事務所費	0	0
要請・陳情活動費	0	0
合計	1,158,624	100.0%

交付-支出= **-78,624**
(赤字額は議員の持ち出し・自己負担)

平和を守り続けていくことが私たちの使命

鶴岡市戦没者追悼式

鶴岡市戦没者追悼式が24日、荘内神社参集殿で行われ、多数の遺族が参列し平和を誓い合いました。

世代の私たちは戦争がどんな悲惨な出来事だったのか知らなくてはいけない、その悲惨な出来事をもう2度と経験しなくてもよいように平和な世の中を守り続けていくことが私たちの果たすべき使命だと思います。」と決意を述べました。

追悼式には加藤太一、加藤鉦一、菅井巖議員も出席しました。

ストップ安倍政権！
市民と野党の共闘で新しい政治を！！

日本共産党演説会

5月28日(日)16時30分開会 出羽庄内国際村



田村智子 党副委員長
参議院議員



ふなやま由美 仙台市議
衆院比例東北

朝日中学校3年の佐藤礼夢さんが「平和へのメッセージ」を読み上げ、2年前に曾祖父から初めて戦争に行つた話を聞き、戦闘機で神風特攻隊だったこと、病気のため出撃できず生き残ったこと、目を閉じると空襲を受けている風景が目に浮かぶなどを聞き、語り尽くせない悲惨な光景が曾祖父の心の中にあると感じたことなどを語りました。



そして、「戦争を知らない

人権侵害につながる 共謀罪は不要

共産・加藤太一議員の賛成討論大要

3月議会に提出された、「共謀罪」に反対する意見書提出を求める請願は自公系会派(新政クラブ、政友・公明クラブ)の反対で不採択とされました。

日本共産党の加藤太一議員が行った賛成討論の要点は、次の通りです。

安倍内閣は、共謀罪法案を今国会へ提案・成立を目指している。法案では「共謀罪」の呼称を「テロ等準備罪」に変えたが、共謀罪の本質と何ら変わっていない。見かけのパッケージを変えて国民の目をくらするやり方だ。

政府原案の本文に「テロ」の文字がないとの批判を受け、「テロリズム集団その他の組織的犯罪集団」の文を入れたがテロ対策とは無関係のもの。

となる。

2人以上で話し合い計画した段階で犯罪に問えるとしており、思想・内心を罰することが可能となる。刑法の原則は、実際に起きた犯罪を罰することだが、それを大きく転換するものだ。

犯罪遂行の前に自首すれば刑の軽減・免除する規定も、密告やスパイ活動を奨励し監視社会の危険性がある。

法案は「国連の国際組織犯罪防止条約を実施するため」としているが、この条約は「テロ防止」とは全く無関係のもの。条約締結国187カ国だが共謀罪を作った国は2カ国に過ぎない。日本では57の主要重大犯罪について、未遂以前の段階で処罰できる法律が整備されている。

安倍政権の意図は、「共謀」を犯罪行為とすることで、相談や準備を取り締まり、犯罪捜査方法を拡大することにある。すでに電話盗聴(傍受)、GPS

「共謀」を犯罪行為とするので、相談や準備を取り締まり、犯罪捜査方法を拡大することにある。すでに電話盗聴(傍受)、GPS



メガソーラー問題に取り組み

飯豊町に「出力200メガ(20

万キロ)ワット、東京ドーム約130個分」(マスコミ報道)という県外資本によるメガソーラーの計画が持ち上がったことから同町を訪ねました。担当課長は、「土

砂災害警戒区域であり開発は人命・財産を脅かす、県水資源保全地域である森林環境を守る、自治の町の意思として森林として守り使うことを決めている」と固い反対の意志を話されました。

その話を受け、25日の厚生環境常任委員会で取り上げました。県は「町の意向をよく聞き、今

後、事業の申請が出された場合、防災、環境保全など、様々な面からしっかりと検討する」と答弁しました。

再生可能エネルギーの推進は大切ですが、この事業のように、県の資本が山形県の環境を壊し、地元利益をもたらさない「外来型事業」では意味がありません。

これまででも、そのことを取り上げてきましたが、県は対策を持っていません。根本的問題は国の制度の欠陥ですが、外来型事業にどう対応するのか県の姿勢も問われ

ます。(県議 関 徹)

下水道課入札結果 () 内は予定価格
4月24日入札分
・市公共下水道事業及び集落排水事業 人孔工事(鶴岡市内)(入札9業者)
(株)五十嵐建業 9,450,000円(9,744,000円)
工期~30/3/30(落札率96.98%)

土木課入札結果 () 内は予定価格
4月20日入札分
・市道神明前茶屋川原線表層改良工事(繰越明許)(下山添地内)(入札4業者)
株式会社王祇建設7,100,000円(7,333,000円)
工期~7/30(落札率96.82%)
・市道花戸線花戸大橋橋梁補修工事(繰越明許)(大針地内)(入札4業者)
株式会社伊藤組41,000,000円(41,720,000円)
工期~9/29(落札率98.27%)

「読書のまち鶴岡」を すすめる会設立総会

23日に「読書のまち

鶴岡」をすすめる会(黒羽根洋司代表)の設立総会が開かれました。

黒羽根氏が代表あいさつを行い、2011年の「読書のまち鶴岡」宣言をすすめる会発足から、2015年12月の市議会での請願不採択などの経過に触れ、「私たちの読書で元気なまちをつくらうという志向性は決して間違っていないかったと確信している。志を同じにする仲間で新たな一歩を踏み出しましょう」と述べました。

業画・予算などが提案され承認されました。第2部ではステージ発表が行われ、朗読集団長月の会、錦心流琵琶一水会による「琵琶で語る昔話」、おはなし玉手箱による「エプロンシアター昔話」など、参加された親子とともに楽しみました。会員として加藤鉦一市議、菅井巖市議が総会に参加しました。



総会では、会の目的「本が身近にあり、本でつながる、元気なまちづくりと文化の発展をめざす」とし、目的を達成するために「いつでもどこでも本に親しめる環境づくりの推進」などの事業を行うこととした会則、役員

の選出、今年度の事